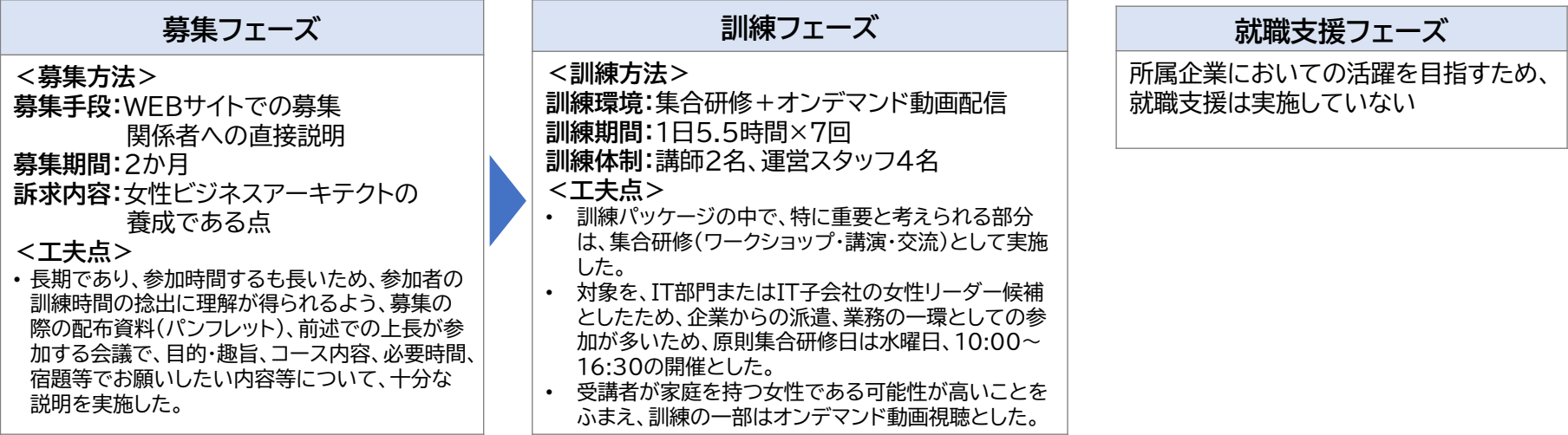


〈訓練パッケージの全体像〉

受講対象者の属性		IT部門・IT子会社での業務経験を持つ女性リーダー候補
受講対象者が直面している課題		リーダーになることを期待されているが、これまで機会を逸していた
訓練概要		ビジネスアーキテクトに必要なスキルの習得と女性活躍のための各種支援の仕組みを含む訓練パッケージ 集合研修(ワークショップ、女性リーダーの講演・懇談会)、オンデマンド動画視聴、自社のDX調査(自主学 習)等知識・スキルの獲得とリーダーとしてのマインド醸成 訓練以外の支援の仕組みとして、上長向けの会合開催、参加者コミュニティ構築 を実施予定
訓練の 新規性	既存訓練の課題	知識・スキルを習得は可能だが、発揮する機会とはつながっていなかった
	本訓練での試み	女性が企業の中でビジネスアーキテクトとして活躍していくため、以下の3つの側面から、トータルでの女性 ビジネスアーキテクトとしての活躍を支援する ①本人の能力向上:ビジネスアーキテクトのスキル・知識・考え方を習得 ②キャリアの検討:女性としてのキャリアプランを検討する(ネットワークを構築) ③活躍する機会の獲得とそのための上司・周囲の支援
カリキュラム		- 集合研修プログラム(主にワークショップ形式):38.5時間 - 自主学習:10時間 - 動画視聴:10時間

〈訓練パッケージの流れ〉



〈試行結果〉

試行時期	2024年6月～9月	試行エリア	東京都中央区築地
受講者数等	受講定員:26名 受講者数:26名 修了者数:26名		
就職状況	所属企業におけるの活躍を目指すため、就職については対象外		
結果に対する評価			
アンケート結果より、DX推進リーダー育成に関して、プログラム内容の実行性、有効性について、確認できた。特に、グループワークの有効性を確認できた。			
効果が得られた施策とその要因			
「座学と手を動かすメニューの組み合わせで、各回満足度の高い」「講義内容はわかりやすく、学んだことをグループメンバーで振り返りながらワークができた」等、理解に寄与したと考えられる - メイン講師兼コーディネーターとして、基本の部分は同じ講師が担当し、サポートを実施した。結果、講師を含めたネットワーキング、チームビルディングを構築でき、順調にワークを進めることができた。 - 企業を超えたメンバー同士のコミュニケーションを促し、教育訓練終了後もネットワークが続いていくように、期間中からオンラインでのコミュニケーションがとれるようにした。今後、ビジネスアーキテクトとして、また女性の管理職として、業務にあたる際、意見交換や相互アドバイスが期待できる。 - 女性の活躍、特に管理職としての活躍や、リーダーとしての育成においては、周囲の協力に加えて、上司の支援が非常に重要と考え、訓練中に1日、上司向けのレクチャーや情報交換の場を設定し、所属企業における理解を促進し、女性活躍の下地を作った。			

〈今後の訓練手法活用に向けて〉

今後の課題及び改善策
<訓練> 「ビジネスアーキテクト」自体が新たなロールであり、トータルで育成を担える講師がなかなかいないことは課題となっている。「ビジネスアーキテクト」分野の教育の実践とさらなる検証が必要と考えられる。 <訓練後の活躍> - 習得した知識・スキル等を活用して、実際に現場で活躍できるかどうかは、今後の経験が重要となる。今後のキャリアプランの立案、上司向けプログラム、コミュニティ構築等を通して、ある程度の活躍の下地を作ることにはできたが、今後の支援としては、継続して上司向けに情報を発信していくことが必要ではないかと考えられる。